

まる見込み。  
 賃貸型は、事業者が建物を取得する従来方式に比べ、公募から開園まで一年以内で進み地域の保育需要に迅速に対応できる利点がある。ただ六月に公募開始時期の前倒しなどを検討する。

浅野有氏（自民）の質問に、佐藤良喜子ども青少年局長は「公募期間や公募対象地域の改善などで待機児童対策を進めたい」と答弁。公募開始時期の前倒しなどを検討する。

「多選とは何選か」個人質問の最後に登壇した丹羽宏氏がただ

# 名港横断バス 来春運行

## ガーデンふ頭—金城ふ頭 市がPR支援

名古屋港の金城ふ頭に来年四月に「レゴランド・ジャパン」が開園するのに合わせ、同ふ頭とガーデンふ頭を結ぶシャトルバスが運行する。市は、バス運行のPRなどで支援する考えを示した。



運行を計画している。三百円程度を想定。一客の利便性向上が期待される。期間は「実証実験」として運行し、利用状況をみて本格運行に移る。

名古屋港の陸路交通は、名古屋駅や栄方面と南北につながる名城線・名港線や第三セクター鉄道・あおなみ線があるが、東西に離れた両ふ頭間を直接行き来できる公共交通機関はない。バス運行で観光

「現在ある水上バス計画を含め、陸路と水路で港エリアの魅力を高めてほしい」と求めると、黒田昌義住宅都市局長は「両ふ頭をつなげる仕組みが必要。新たな交通手段として、バス事業実施に期待したい」と述べた。

# 寄付された児童書贈る

## 新制度利用 徳重図書館に560冊

名古屋市内でもっとも児童書の貸出数が多い緑区の徳重図書館に、区内の市民団体「緑区大好き24万人プロジェクト」実行委員会が絵本など五百六十冊（八十万円相当）を寄贈した。写真。

市図書館が九月に始めた寄付の仕組み「なごや ほんでキフ倶楽部」を利用。個人や企業などが寄付を申し出て、図書館が本を選べる。寄贈元は本に紹介

# 旅人や母子像 異国情緒

## 西区 人形作家・山口さん個展



緑区の人形作家、山口景子さん（六六）の個展「遠い国、遠い人々」が二十九日、西区則武新町三のノリタケの森ギャラリーで始まった。入場無料、十二月四日まで。

山口さんは四十年ほど前から人形作りを始め、東京や米国などで個展を開いているが、名古屋市内では初めて。

人形は、石塑粘土に布を貼って土台を作

さまざま素材の布をまとった人形を手掛けた山口景子さん。西区則武新町三のノリタケの森ギャラリーで。

実行委は徳重学区で毎年夏祭りを開き、収益金を地域に還元している。早瀬弘親・鶴舞中央図書館長から感謝状を受け取った倉知清和会長は「人口が増え、本が足りない聞く。本好きになるきっかけになれば」と話した。（小椋由紀子）

り、古ぎれを縫い込んで衣服を仕上げる。海外の市場など各地で集めたさまざまな色や柄、素材の古ぎれが異国情緒を醸し出す。踊る女性や母子像、旅人など約三十点を展示。山口さんは「布の組み合わせの面白さと人形の顔を見てほしい。顔はあえて表情をつけず、見る人の心が投影されるようにしています」と話す。

陶彫や山口さんの夫で画家の山口力靖さん（六八）が木材で舞台を作って人形を乗せた合作もある。（加藤裕子）